

ラインハート・ポーズ BILDER 1979-2024

ファーガス・マカフリー東京
2026年1月24日-3月7日
オープニング・パーティー 1月24日 6-9PM

ファーガス・マカフリー東京は1月24日より、ドイツ人画家ラインハート・ポーズ（1951年ベルリン生）の個展を開催します。1階にあわせ、新たにオープンする地下ギャラリー・スペースにて1979年から2025年の間に制作された作品15点を展示します。本展は、ポーズにとってアジアでの初個展となります。



ポーズは1971年から77年にかけてベルリン美術大学（当時の西ベルリンに位置する）で学んだのち、ニューヨーク・ロウアー・イーストサイドに滞在。エリザベス・ストリートのロフトに居を構えた彼は、絵画を制作しながらCBGBやマックスズ・カンザス・シティに足繁く出入りし、ラモーンズ、ブロンディ、トーキング・ヘッズのライブを体験しました。1978年西ベルリンへの帰国後、ノイケルンとクロイツベルクの境界に拠点を構えました。そこではSO36をはじめとする新たに登場してきていたパフォーマンス・スペースを中心に「ノイエ・ドイチェ・ヴェレ（ニュー・ウェイヴ）」やパンクシーンが交錯していました。

ポーズはアルベルト・ウーレン、マーティン・キッペンベルガーなどのドイツ人作家、またジョイス・ペンサート、ドナルド・バチェラー、ジャン＝ミシェル・バスキアらアメリカ人作家と同じ時代の潮流に属します。彼らはコンセプチュアリズム、ミニマリズムを離れ、高度な技術を排した表現的な絵画の手法を用いており、それは70年代後半から80年代クロイツベルクとソーホーの、Uバーンやメトロ車両にグラフィックアートが溢れかえった風景と共振していました。彼らはストリート・アート、ポップ・アート、抽象表現主義の融合点といえるアーバン・エクスプレッションニズム（都市表現主義）を確立していきました。



60年を超えるキャリアを持つポーズは、この数十年間、公のアートシーンからは離れていました。彼の近作には孤独な探究から得られた直接的で自由、自信に満ちた自在な表現力が見られます。70年代以降、彼の作品は概ね抽象的な絵画で、ダイナミックな荒削りさ、触覚的な即時性、確信に満ちた息を呑むような表現を引き継ぎながら、近、新作ではパステル調の油彩、水彩、スプレーペイントがその色彩に加わっています。

信に満ちた自在な表現力が見られます。70年代以降、彼の作品は概ね抽象的な絵画で、ダイナミックな荒削りさ、触覚的な即時性、確信に満ちた息を呑むような表現を引き継ぎながら、近、新作ではパステル調の油彩、水彩、スプレーペイントがその色彩に加わっています。

会場では2023年制作のドキュメンタリー映画《ENIGMA PODS》（53分。マイケル・クラウス監督・プロデュース）をスクリーニング。

展覧会ポスター、ポストカード、および2025年Galerie Michael Haas（ベルリン）出版の書籍を販売。個数限定でアーティストのサイン付き。



ラインハード・ポーズは1970年代半ばからヨーロッパを中心に多数の展覧会を開催。1990年代半ば以降、公の展示からは姿を消していたが、ギャラリー・マイケル・ハース チューリヒ(2012年)、ベルリン（2018年）での個展以降、再び注目を集めている。ヴィラ・ロマーナ賞(1980年)、ヴィラ・マッシーモ賞(1988年)、ヴィル・グローマン賞(1994年)、ベルリーニッシュェ・ギャラリー（ベルリン） フレート・ティーラー賞(1996年)ほか受賞歴多数。

Fergus McCaffrey について

2006 年ニューヨークで設立されたファーガス・マカフリーは、元永定正、白髪一雄、中西夏之ら戦後日本美術の国際的評価を確立するうえで重要な役割を果たしてきた。マーシャ・ハフィフ、ビルギット・ユルゲンセン、リチャード・ノナス、ジグマー・ポルケ、カロール・ラマなど独創性に富んだ気鋭の西洋作家の作品展示も行なっている。2018 年、ロバート・ライマン展を皮切りに東京・表参道にギャラリーを開設。以降、ジャスパー・ジョーンズ、リチャード・セラ、久保田成子らの展覧会を開催し、2025 年春には京都・二条城にてアジア最大規模のアンゼルス・キーファー展を主催した。

プレスに関するお問い合わせ:

Tel: +81 (0)3 6447 2660

Email: tokyo@fergusmccaffrey.com

Images: 1. Reinhard Pods, *Untitled*, 1982. Oil and spray paint on canvas. 71 1/8 x 59 1/4 inches (180.7 x 150.5 cm) © Reinhard Pods. 2. Reinhard Pods, *Untitled*, 2022. Oil and notepad on canvas. 71 1/8 x 78 3/4 inches (180.5 x 200 cm) ©Reinhard Pods. 3. Artist.